

現場見学会 次第

主 催 一般社団法人大阪建設業協会
協 力 株式会社久本組・株式会社松尾組共同企業体
日 時 平成26年10月1日(水)
13:30～15:30
場 所 南大阪湾岸流域下水道
中部水みらいセンター水処理施設(3-1系) 土木工事

1. 建設現場概要説明等

2. 現場見学

3. 質疑応答

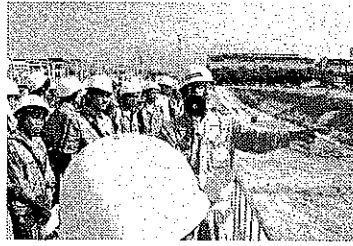
見学時には引率者が付きますので、指示に従って行動をお願いします。

【注意点】

- ① 安全のため、見学エリア以外には立ち入らないようお願いします
- ② 現場作業中の機械に注意。(引率者の指示に従ってください)
- ③ 工事機械、工具等には触れないようお願いします。
- ④ 足元が悪いので注意願います。

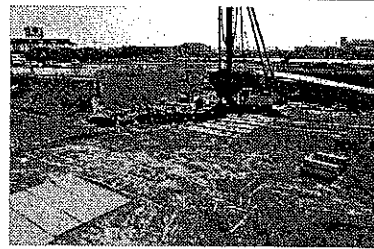
大建協

西野田工高生招き見学会 中部水みらいセンター水処理土木現場



大阪建設業協会(大建協)と教員を招いた見学会、**葛田守弘**会長は1日、大阪府が貝塚市二色南町で進めている「南大阪湾岸流域下水道中部水みらいセンター水処理施設(3-1系)土木工事」(施工|久本組・松尾組)の現場で、大阪府立西野田工科高校の生徒42

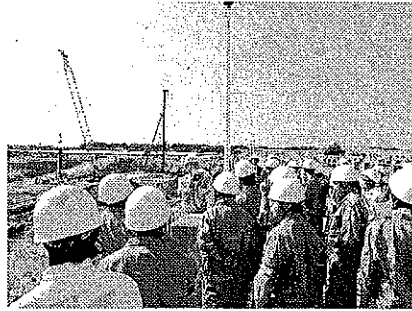
人と教員を招いた見学会を開いた。生徒は松岡剛所長(久本組)の施工内容などの説明を熱心に聴いていた。写真上。この日の見学会には、建築システム専科の2年生が参加。最初に松岡所長らJV職員から工事概要や施工方法について説明を受けた後、一行は現場が望める場所に移動し、施工状況などについて説明を受けた。現場には白線で「WELCOME」と書かれた



現場には「WELCOME 西野田工科」の文字が、高校生の見学を歓迎していた。見学会後、高校生が事前準備していた延べ7項目の質問を行い、松岡所長が丁寧に答えた。「どんなことを思いながら仕事をされていますか」「どっついでどっついでに気をつけていますか」との問いに対しては「安全確保に気を付けている。事故が発生すると、施設が完

成しても水の泡となる」と現場の労働安全確保の重要性を述べた。現場作業者の平均年齢についての質問に対しては「調べてみると49歳と非常に高かった」と答えると共に「ぜひ若い力で建設業を盛り上げてほしい」と呼び掛けた。同工事は、中部水みらいセンターに日量2万8500立方メートルの水処理施設の新設の土木構造物を新設する事業。

1次掘削(4万5900立方メートル)と2次掘削(1万2800立方メートル)を行い、ディープウェル(φ500ミリ、深さ18.2メートル)を設置し、既製杭工(φ500ミリP H C杭2本、φ800ミリP H C杭765本)、杭頭前処理を実施する。3月24日に着工し、7月に1次掘削を完了。現在、既製杭工を進めており、9月30日時点で進捗率は約70%。15年2月27日の完成を目指す。



大阪建設業協会(梶田守弘会長)は1日、南大阪湾岸流域下水道中部水みらいセンター(大阪府貝塚市)の水処理施設現場見学会を開いた。府立西野田工科高(大阪市西淀川区)の建築システム専科の生徒約40人が現場を訪れ、土木工事の現場について学んだ。

久本JV施工の水処理施設現場

工高生40人が見学

大建協

生徒らが訪れたのは、同センター内に建設中の水処理施設(3-1系)土木工事の現場。施工は久本組・松尾組JVが担当している。岡所長らの案内で作業の様子

見学に先立ちあいさつに立

見学後は質疑応答が行われ

現場で働く作業員の平均

年齢に関する質問を受けて松

岡所長は「当現場も含め、建

設業で働く人間の高齢化が進

んでいる。皆さんのような若

い人たちの力で、建設業を盛

り上げてほしい」と訴えた。

大阪府(南部流域下水道事

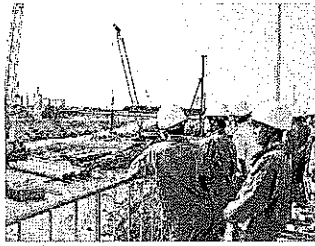
務所)発注の同工事は、20

14年3月に着工。準備工、

構造物撤去、1次掘削などを

経て現在は既製杭工を進めて

いる。工期は15年2月末まで。



高校生対象に現場見学会

水処理施設の土木工事見学 大建協

大阪建設業協会は1日、貝塚市二色南町で行われている南大阪港湾流域下水道中部水みらいセンター水処理施設土木工事の

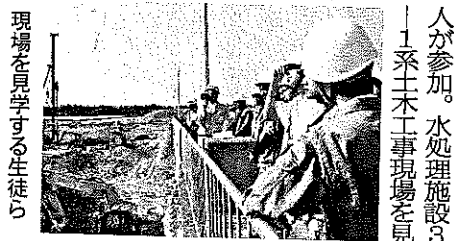
現場で高校生を対象とした現場見学会を開催した。今回参加したのは、大阪府立西野田工科高等学校建築システム専科の生徒42名(内女性2名)で、普段は目にすることが出来ない大規模な工事現場に興味深く、真剣に見学していた。

本工事は、貝塚市二色南町6、敷地約1万3千平方メートル。施工は久本組・松尾組JVが担当。工期は14年3月24日〜15年2月27日まで。請負金額8億1984万7千円となる。大阪湾に流入する近木川、見出川、佐野川の水質保全を目的とした下水道事業の一環で、中部水みらいセンター13-1系水処理施設(水処理能力2万8500立方メートル)の増設に伴う土木工事。工事概要は▽準備工▽工事用道路工▽ディープウエル設置▽構造物撤去工▽本体作業土工(1次掘削)▽既製杭工▽杭頭前処理工▽本体作業土工(2次掘削)▽跡片付け工という作業手順を予定しており、現在は既設杭工まで進んでいる。

今回の現場見学会では、実際に既設杭工などの作業が行われている現場状況や現場横に設置されている敷地約3万平方メートルある太陽光パネルなどを見学した。

大建協主催
西野田工科高の
42人が現場見学

高校生を対象とした大阪建設業協会(鳥田守弘会長)主催の現場見学会が1日、南大阪湾岸流域下水道中部水みらいセンター(貝塚市)で行われた。西野田工科高校建築システム専科の2年生42



現場を見学する生徒ら

て回った。

同現場は、中部水みらいセンターに新たな水処理系を築造するための基礎部分の工事で、今春に着工。現在、既製杭工が進められている。進捗率は50〜60%。久本組・松尾組JV(松岡剛所長)が施工。当日は、参加者全員が一つにまとまって現場を見学し、松岡所長が作業内容などを説明。時折、「鋼管の値段はいくらでしょう」などの問題を出し、生徒らは興味深そうに答えていた。

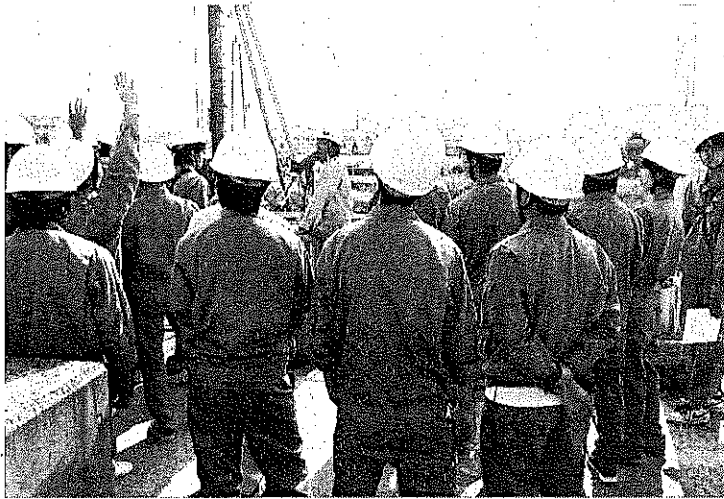
見学後の質疑応答では、現場の総工費や従業員の平均年齢に対する質問が生徒らからあった。松岡所長は「調べてみてびっくりしたが、平均年齢は作業員49歳、事務所員53歳だった。皆さんにはぜひ建設業界に入ってもらい、若い力で盛り上げてほしい」と業界への入職に期待を込めた。

大建協が高校生対象現場見学会

中部みらいセンター 水処理施設(13系)土木工事

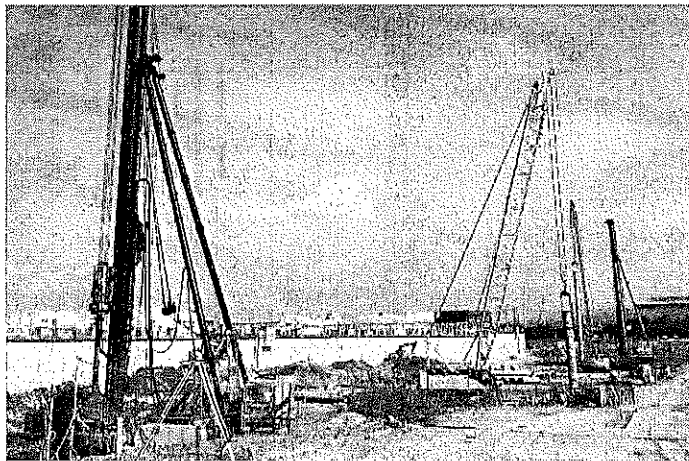
大阪建設業協会(鳥田守弘会長)では、高校生を対象とした現場見学会を一日、「南大阪湾岸流域下水道中部みらいセンター」水処理施設(三十一系)土木工事(大阪府貝塚市二色南町六)で開催し、大阪府立西野田工科高等学校建築システム専科二年生四二名が参加した。この見学会は若年者に対する入職促進活動の一環として、大阪府下の建設系学科を有する高等学校の生徒を対象に同協会が毎年主催しているもの。

西野田工科の42人参加



熱心に見学する高校生たち

現場のようす



設(水処理能力二八、五所)施工は久本組・松尾組(〇〇立方尺/日)を新設。組JVが担当している。するもので、発注者は大見学会では初めに、現場に移動し、現在既製杭なことに気を付けて作業を行つていきますか」との

が工事の概要を説明。その後、生徒たちは作業現場から「現場では、どのような状況が進行している」としながら、「今日の見学会を機会に、将来建設にかかわる仕事に携わっていただきたい」と期待を寄せた。

工事は、敷地面積約一三、〇〇〇平方尺に本体作業土工として掘削工(掘削土砂・五八、七〇〇立方尺)、残土処理工(五八、八三〇立方尺)が、本体築造工として既製杭工・杭頭前処理工(杭総数七七七本)が行われるほか、構造物撤去工などが行われる。現在の進捗率は約七〇%で、工期は平成二十六年三月二十四日から平成二十七年二月二十七日。請負金額は八億八千五百四十三万四千七百六十円。



松岡所長

た。現場では総数七七七本の本の杭を打ち基礎までの「やはり、安全管理に心がけます。せっかく良い仕事をしても災害を起さしてしまつてしまう」と述べ、見学会終了後には、質問を受けたほか、平均年齢への質問では高年齢化が進んでいるとしながら、「今日の見学会を機会に、将来建設にかかわる仕事に携わっていただきたい」と期待を寄せた。